



Rotary International District2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)
 ■会長：福本良平 ■副会長：植村将史 幹事：高辻良成

発行日 / 2015年1月27日

2014-2015/26

Vol.36

No. 1726

hp: <http://naraomiya-rc.jp>
 E-mail: info@naraomiya-rc.jp
 2014-15年度当クラブテーマ

『ロータリアンとしての誇りをもって』



国際ロータリー第2650地区

ガバナー 北河原 公敬

「ロータリーは心くぱり」



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

本日のお客様

奈良県知事公室審議官兼まちづくり推進局次長、
奈良公園室長事務取扱 中西康博 様

会長挨拶

本日は奈良大宮ロータリークラブの創立記念例会に当ります。創立の歴史は昨年35周年記念もございまして、皆さんよくお話を聞いて頂いているかと思いますが、簡単に申し上げますと、創立が1979年1月23日です。国際ロータリー加盟になりましたのが同年の3月1日、そして認証伝達式が5月15日、スポンサークラブは奈良クラブです。県下で9番目のクラブでした。チャーターメンバーは22名、当時既存クラブの大体チャーターメンバーの平均が25名ですので、同じような感じでチャーターメンバーが集まってスタートされました。そして、創立時の時の県下のクラブの会員数ですが、521名でした。現在2014年10月のデータですが、奈良県のクラブは14クラブで725名です。この35年間で県下としては200名程しか増えてない、1.3倍ほどにしかになっていないのですが、当クラブは22名から現在78名で3.5倍になり、順調に拡大してまいりました。今後はチャーターメンバーの方、またそれに近い方はロータリー歴50年を目指して頑張ってもらえればと思います。そして、バランスのとれたメンバー数を維持しながら、各人がロータリアンとして、また地域に貢献できるクラブとして成長することを願っております。

例会プログラム

第27回1月27日

通算1726回

1. 開会の点鐘
2. ソング
「それでこそロータリー」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 会員卓話
松岡 嘉平治 会員
「能楽の源流について」
6. 閉会の点鐘

例会状況報告

第26回 1月20日

通算1725回

- ◎会員数 78名
- ◎出席規定免除者数 1+25名
- ◎出席義務者数 52名
- ◎欠席者 11名
- ◎出席者 59名
- ◎出席率 84.29%

第24回 1月6日

通算1723回の修正

- ◎会員数 78名
- ◎出席規定免除者数 1+25名
- ◎出席義務者数 52名
- ◎欠席者 6名
- ◎補填者 3名
- ◎出席者 72名
- ◎出席率 96.00%

第54回米山功労クラブ 感謝状



委員会報告

職業奉仕委員会：石野委員長

今週の日曜日、地区の職業奉仕講演会が行なわれます。27名の方の申し込みを頂いております。申し込みされた方は出来るだけご参加頂きますようお願い致します。もし場所などわからないことがございましたら例会終了後私にお問い合わせ頂きましたら、リーフレットなどお渡ししますので、よろしくお願い致します。

青少年奉仕委員会：水野委員長

先日1月17日（土）に京都平安ホテルに於きまして、第2回奉仕プロジェクト部門青少年奉仕担当者会議がございまして、参加をさせて頂きました。当日は、RYLAの説明と各委員会の報告等頂いたのですが、正式にRYLAの日程等が決まりましたので、ご案内を致します。日程は5月15日（金）～17日（日）2泊3日となっております。会場につきましては、福井アカデミアホテル、それから学舎井学園という所を使用される予定でございます。テーマにつきましては、「日本人の心と精神」ということを軸にしまして講師の予定が林小春さんという作法研究家の方と、境野勝悟さんという東洋思想研究家の方にそれぞれご講演頂くことになっております。私も一部参加をさせて頂く予定にしておりますが、受講生の募集をここでさせて頂きたいな、と思っております。皆さんのご子息や社員さん等でこの研修に参加させてみようかな、という方がいらっしゃいましたら、二月末までがメ切となっておりますので、私の方までお声掛け頂きますよう、よろしくお願い致します。

RID2650総務担当：谷川幹事

先週例会終了後、クラブ協議会で地区大会のスケジュールを役割等について説明させて頂いたのですが、若干修正があったのと先週欠席の方もいらっしゃったので、改めて修正した分を本日状差しに入れておりますので、ご確認お願い致します。

感謝状授与

奈良県知事公室審議官兼まちづくり推進局次長、奈良公園室長事務取扱 中西康博 様

平素は奈良県のいろいろな観光行政含め、諸々に非常にお世話になり、有難うございます。今日は、この奈良大宮ロータリークラブ様から私どもの奈良公園に吉野の間伐材を利用頂いた立派なベンチ31基とテーブル5基を頂きまして、本当に有難うございました。なにぶん、行政でございますので、感謝状しかお渡しできません。本来でしたら知事の荒井がこちらに来てお礼を言うべきなのですが、どうしても公務の都合で来られませんでしたので、私が代わりに来させて頂きました。

いま奈良公園は一所懸命費用をかけてと言っではおかしいですが、良い公園にしよう、過去明治に出来てからいろいろある中で松なんかもだいぶ松枯れでやられましたし、ナンキンハゼも非常に増えており、柳が枯れるなど色々な事がありましたけれども、やはり100年先にも胸張って「奈良公園に遊びにしよう」といえるような公園を目指して頑張りますので、今後とも是非ご協力の程、よろしくお願い致します。

<感謝状授与>

「感謝状」

奈良大宮ロータリークラブ 会長 福本良平 様
 貴団体はこのたび奈良公園に吉野間伐材を利用した木製ベンチ及びテーブルを寄贈され本件の公園緑地整備に貢献をされました よってここに深く感謝の意を表します
 平成二十七年一月二十日
 奈良県知事 荒井正吾



高辻幹事

寄付致しましたベンチですが、「どこにあるのか?」というご質問を受けたりしておりますので、中篤社会奉仕委員長から説明いたしますので、よろしくお願い致します。

社会奉仕委員会：中篤委員長

ただ今感謝状を頂きました奈良公園内のベンチの設置場所をご説明させて頂きます。ちょうど奈良公園の春日野園地、昔春日野グラウンドの跡地らしいです。そこにベンチ31基とテーブル5基を設置しております。ベンチには吉野間伐材のPRと奈良大宮ロータリークラブの寄贈と記載されています。新公会堂のちょうど北側です。従来ここにもテーブルがありましたが、老朽化していたということで、建て替えということです。新たに設置すると、文科省の許可が要ったりしてなかなかできなかつたと思います。テーブルの横には「奈良大宮ロータリークラブ寄贈」というプレートがあります。31基と5基以外に文化会館に4基設置しております、これは非常に市民の方にご利用頂いているということでございます。

1月お誕生日・結婚記念日

★お誕生日★

4日	飯田二昭	君
5日	徳矢和士郎	君
6日	箸尾文雄	君
8日	森下泰行	君
14日	渡辺英孝	君
14日	平方貴之	君
17日	武中洋勝	君
20日	楠下重郎	君

★結婚記念日★

10日	小林一士	君
15日	渡辺英孝	君
28日	武中洋勝	君



R I 委員会卓話

クラブ研修リーダー 多田廣会員

「日本のロータリーの歴史」

(代読：プログラム委員会 委員長 楠木重樹会員)



皆さんこんばんは。本来なら本日はR I 委員会卓話ということでクラブ研修リーダーの多田廣さんをお願いをしておりましたが、多田さんの体調がすぐれないということで私が多田さんの原稿に基づいてお話しさせていただきます。先週の土曜日に多田さんより原稿を預かりこの2日間私なりに勉強をしてまいりましたが、多田さんの言わんとする意が皆さんに十分伝わるかどうか心配ですがよろしくお願ひします。演題は日本ロータリー史ということでお話しさせていただきます。本日は東京ロータリークラブの設立から満州事変勃発になるまでの前半をお話しさせていただきます。後半は多田さんの健康が回復したらということにしたいと思ひます。

日本にロータリー運動をもたらすきっかけを作ったのは「福島喜三次」氏です。福島氏は佐賀県有田町の生まれで、一橋大学を卒業後、三井物産に入社し、1905年に渡米し、1912年頃、ダラスの三井物産の現地法人「サザン・プロダクツ社」の支配人に就任しました。既に同社の社長「ウィリアム」氏がダラスR Cの会員になっていたため、福島氏は1915年頃、アデショナル会員として、ダラスR Cに入会します。その後、ドイツ人であったウィリアム氏は、第一次世界大戦の勃発によってドイツに引き上げたので、正会員として1920年まで同クラブに在籍した最初の日本人ロータリアンです。

日本のロータリーの父といわれる、米山梅吉氏は東京に生まれ、少年時代を三島で過ごしました。沼津中学を卒業後、家出同然に上京し、苦学をしながら今の青山学院大学の前身である英語学校に通った後、渡米してアメリカの大学を卒業しました。帰国後、浪人生活を続けますが、30歳で井上馨氏の紹介で三井銀行に入ります。1917年10月に、目賀田種太郎男爵を団長とする政府派遣財政経済委員の一員として渡米した際、1918年の正月をダラスの福島宅で過ごすことになります。現地駐在員として案内役を務めた福島氏から、ロータリーに関する話を聞いて、関心をもって帰国しました。1920年1月に帰国した福島氏は、ダラスR Cから日本にもロータリークラブを作るよう勧められ、シカゴの本部からも同年の6月までに作る許しを受けていましたが、期限内には創立に必要なチャーターメンバーの数を集めることが出来ませんでした。シカゴからは福島に再度委任状を送るとともに、パシフィック郵船横浜支店長のウィリアム・ジョンストン氏をクラブ拡大の世話役に任命し協力を命じました。福島氏から協力を依頼された米山梅吉氏は、財界の面々に声をかけ、ようやく1920年9月1日に設立準備会が開かれ、1920年10月20日、チャーターメンバー24名が集まって創立総会が開催され東京R Cが誕生しました。R I から正式に認証されたのは、1921年4月1日で、登録番号は855です。初代会長は米山梅吉氏、幹事は福島喜三次氏で、東京R Cの例会は、月1回としたが、会員は定款細則などに対する関心が薄く出席率も悪かったようです。創立当初の東京ロータリークラブは会員のほとんどが財界の大御所で占められており、この最初の人選が前例となって、戦前の日本のロータリーは功成り名を遂げた財界人が入るクラブという錯覚を生み出すとともに、クラブ会員が当然自ら果たすべきクラブ奉仕活動を事務局員に任せるといふ悪い習慣を日本全国に広げる原因を作りだしました。

次に大阪ロータリークラブの誕生ですが、東京ロータリークラブの初代幹事の福島氏はわずか2回例会に出席しただけで、1921年3月に大阪へ転勤になります。それを機会に関西財界人の間にロータリーに対する関心が高まり、福島喜三次氏は星野行則氏と話し合い、英米訪問実業団の一員として渡米した星野氏がシカゴに赴き、直接事務総長のチェスレー・ペリー氏と会談して、大阪R C設立の意向を伝えました。日本におけるロータリークラブの拡大に積極的だったチェスレー氏は拡大に関する直接の指導を与えるとともに星野氏に大阪R C設立に関する全権を委嘱しました。帰国した星野氏は福島氏と協力して拡大の作業を進め、1922年11月1日に、大阪ホテルに10名を集めて、第1回創立準備会を開催し11月17日にはチャーターメンバー25名によって大阪R Cの創立総会が行われました。初代会長は星野行則氏、幹事は福島喜三次氏です。R I から1923年2月10日付で加盟が承認され登録番号は1349です。東京ロータリークラブがダラスR Cをスポンサーにしているのに対し、大阪R CはR I 直轄でできたクラブであり、本家クラブともいわれます。当時、大阪大丸に露口四郎氏という方が居られたが、ロータリアンとして直ちに副幹事となり、これを4年間、更に幹事を13年間勤め、ロータリーを勉強され、ロータリーの事情に精通されました。更にその後、驚くべきことに会報委員長を27年間も勤められたといひます。暫くして、大阪R Cの会報は日本一の模範的な会報となり、今もって、大阪

RCの直系クラブの会報はこの系統をひき、充実した会報になっています。ロータリーの役員は1年で交替することになっていますが、幹事の役はそうでもなく、1960年にフィラデルフィアRCでは、その創立50周年の式典で幹事50年勤続の表彰をしたということです。また、東京RCでも、内外編物株式会社の小林雅一氏が幹事を11年歴任されたという記録があります。

次に関東大震災を契機とした経過をお話しします。1923年9月1日午前11時58分、突如として起こった関東大震災で東京、横浜が壊滅的な被害を受けました。RIの対応は迅速で、震災直後の9月4日にはRI会長から「RI及び全ロータリークラブは深い同情の意を表す。如何なることであろうと遠慮なく申しつけられたし。」のお見舞い電報と共に25,000ドルが大阪RCを経て送られシカゴRCからは15,000ドル、各国の503に及ぶロータリークラブから89,000ドルに達する義援金が送られてきました。東京RCではこの義援金を東京、横浜の小学校の再建や被災者救援などに使うとともに、この世界のロータリークラブからの奉仕活動に具体的に接して、ロータリーの思想、活動に猛省が行われました。そして、1923年11月14日の臨時総会で、月1回例会の特権を放棄し、標準定款を採用して、毎週1回の例会を開くことを決定し会員の出席率も良くなったということです。大震災によってロータリーの本質が理解されたというべきでしょうか。東京RCでは被災者保護として、東京孤児院内に新築建物一棟を寄贈し、これをロータリーホームと名付け、1924年10月23日この開館式が贈呈式を兼ねて行われ、以後10年後の修理を含めて東京RCの社会奉仕事業としてその継続がはかられました。RI脱退後、東京都に移されて、ロータリーホームという名称も消え、その後戦災によって焼失しました。

次はニコニコ箱の起源についてお話ししたいと思います。

今述べたロータリーホームの開館式、贈呈式に東京RCの会員の6割が家族を伴って参列し、これが日本におけるロータリー家族会の始まりといわれております。この孤児院には後日談があり、1935年に孤児院の子供たちを多摩川園へ連れて行こうということになりました。青少年奉仕活動だったのでしょか。その資金をどうするかということで関幸重氏という方がダンボール箱を持って会員の中をまわると600円の資金が集まり、これで子供たちを多摩川園へ連れていくことが出来ました。これがニコニコ箱の起源で、のちにダンボール箱に代えてエビス様の顔を彫った箱を三越に注文し、ニコニコ箱としました。このニコニコ箱は今でも東京RCにあるということです。このニコニコ箱の起源については異説もあり、1930年に大阪RCで例会に遅刻したら50銭とか1円とか入れた罰金箱がニコニコの起源であるという話もあります。

次は日本の6大都市に設立されましたクラブについてお話しさせていただきます。

関東大震災を契機として、日本のロータリー運動は本格的になってゆくのですが、当初、日本はRIによる直轄クラブとしてガバナーもなくクラブ拡大に不便な状態でしたが、1924年7月にRIは米山梅吉氏をスペシャルコミッショナーに任命してクラブ拡大に当たらせました。第2代が井坂孝氏、第3代が平生鈞三郎氏です。この3氏の指導のもと日本の大都市に次々とRCが設立されてゆくのです。1924年には大阪RCをスポンサーに神戸RCが、東京RCをスポンサーに名古屋RCが設立され、更に、1925年には東京RC、大阪RC共同スポンサーで京都RCが設立されました。1927年には横浜RCが設立されました。日本ロータリー50年史には次のように記述されています。東京に近く、アメリカにも関係の深い横浜にRCが出来あがるのが遅れたのは関東大震災の打撃によるもので、1925年井坂孝氏が東京RCの会長に就任するにあたり、臨機の処置として横浜市を東京RCの地域内に入れることに定款を変更したところ、RIはこれを認めず、速やかに横浜RCをつくるよう要請してきたという経過の後横浜RCが設立されたのです。国内6大都市にロータリーが設立されたことで国内は一応一段落し、1928年以降、外地に拡大が移ってゆくのでありますが、国内に設立された戦前のクラブには次のような特徴があります。それは東京・大阪両RCのチャーターメンバーが全員日本人であり、以下神戸、名古屋、京都RC等もそれに準じたことです。当時の東洋にあるクラブの状況といえ、例えばマニラRCの会員112人でそのうち97人がアメリカ人でフィリピン人はわずか6名でその他という構成で、上海RCでは40%がアメリカ人、25%が中国人、20%がイギリス人という構成でありました。日本人だけで設立されたということはやはり特徴であると思われます。横浜RCが誕生した1927年6月に引続き8月に会員25名で現在のソウルRCが設立され、次いで1928年11月に会員23名で大連RCが、更に、1929年3月には大連RCの世話で奉天RCが誕生しました。翌年の1930年4月にはハルピンRCが誕生し、ここは使用言語が英語、ロシア語、中国語、日本語の4カ国語に及びエスペラント語の採用を言う者があるほどでした。大連、奉天、ハルピンと旧満州国の各地でクラブが設立されていく中で首都の新京にRCが設立されるには1934年まで待たなければなりません。新京は軍人の力が強く、容易にクラブの設立が許されなかったが、村田省蔵氏の尽力によって、奉天RCのスポンサーで会員33名でようやく発足しました。

次は地区の問題です。先ほども申し上げましたが日本には当初地区がなかったのですが、日本に地区を設ける希望が高まったため、平生鈞三郎スペシャルコミッショナーが強引にRIに交渉した結果、1928年7月、朝鮮、満州を合わせて第70区としてRIより正式承認を受けること

になりました。正式認定とは言うものの、当時7クラブしかなかった地域を地区として承認するにはかなり無理があり、RIも渋々承認したというのが真相の様です。1929年4月27日、第1回地区年次大会が米山ガバナーの下、京都RCがホストとして開催されました。初めての地区大会なので、全く様子が分からずその準備は大変だったようです。1930年5月、第2回地区年次大会が米山ガバナーの下、神戸で開催され、この席上で米山ガバナーが3選されました。又奉天RCから日本語のロータリーソングを作ること、奨学金制度を作ること、ガバナー月信発行することなどが提案されました。奉天RCの提案を受けて、1930年5月より、手書謄写版刷りのガバナー月信が発行されました。1931年5月、第3回地区年次大会が横浜で開催され、ガバナーノミニに井坂孝氏が選ばれ第2代ガバナーになることに決まりました。井坂ガバナーの年度からは定期的にタイプ打ちのガバナー月信が発行されるようになりました。1932年、大阪で行われた第4回地区年次大会で再選されました。1933年4月、東京で開催された第5回地区年次大会で村田省蔵氏がガバナーノミニとなりました。1933年8月、大阪で開かれた第3回地区協議会で村田省蔵ガバナーは、ロータリーの拡大について、人口5,000人以上の都市にロータリーを作りたいと話し、米山梅吉氏もこれを支持しました。一方、この頃からロータリーと国家という問題が議論に上るようになりました。その後1931年9月18日の満州事変勃発をきっかけとして満州国承認問題で日本は1933年3月国際連盟を脱退しこの頃から日本は国際社会から孤立し又ロータリーはアメリカのスパイであるとかと軍部と右翼による思想の抑圧が表面化し、ロータリーの日本化問題に関連し、ロータリー運動の方向が真剣に語られるようになりました。以上ですが、この後の話につきましては相当複雑な問題ですので多田委員長にお願いしたいと思っております。ありがとうございました。



本日計 31,000円 累計 1,773,000円

- | | |
|---------|---|
| 楠下重郎 君 | 本日を持って古希を向えました。有難うございます。 |
| 金星 昇 君 | 年も明けて、八十一才の階段を力強く踏み出しました。健康に気をつけて頑張りたいと思います。今後とも、よろしくおねがい致します。 |
| 飯田二昭 君 | 誕生日を祝っていただき有難うございます。 |
| 渡辺英孝 君 | 結婚記念日にきれいな胡蝶蘭をありがとうございます。満43年にも成りました。ありがたい事です。これからも仲良く健康で過したいと思います。又、1月14日で68才に成りました。 |
| 武中洋勝 君 | 結婚記念日及び銀婚式・誕生日のお祝い ありがとうございます。 |
| 森 完二 君 | 新年初めての出席です。賀状のお礼も遅くなりました。今年も宜しく願いします。 |
| 矢追家麻呂 君 | ニコニコ協力 |
| 西口栄一 君 | ニコニコ協力 |
| 平方貴之 君 | ニコニコ協力 |

例会変更のお知らせ

2 月

■生駒ロータリークラブ■

- ・ 2月11日 (水)・・・定款第6条第1節 (C) により休会
- ・ 2月25日 (水)・・・姉妹クラブ (台湾屏東RC) 訪問の為、休会

※申し訳ございませんが両日ともビジター受付は致しません。

次週の例会

平成27年2月3日 (火)

クラブ討論会 (国際奉仕委員会担当)

RI第2650地区 国際奉仕委員会 委員長 岩本金悟 様 (奈良東RC)